



●アゼモの種子とヒフカA

高知生まれの、 あせものお薬



地元老舗製薬メーカーが作る ロングセラー商品

昭和23年、「株式会社松田博愛堂」として創業。昭和28年に「松田医薬品株式会社」と名を改め、地元製薬メーカーとして地域の健康づくりに貢献してきた。あせもの薬として知られる「ヒフカA」は、松田医薬品を代表するロングセラーであり、高知の夏に欠かせない家庭薬だ。

ダーのヒフカA。塗りやすく、乾けばさらりとした感触。肌を整える成分がやさしく作用し、数日のうちに炎症が収まり、健康な肌を取り戻す。体にいいものだけをつかって作り上げた、真面目で二徹な商品は、46年にわたって愛され続ける確かな効果がある。

ヒフカAが誕生したのは昭和43年。子どもをあせもやおむつかぶれから守るために、どの家庭にもベビーパウダーが常備されていた時代。粉末状で微粉が舞い、目に入ったり吸い込んだりということもあった。そこで登場したのが、ロールオンタイプで手軽に塗れる、液状パウ

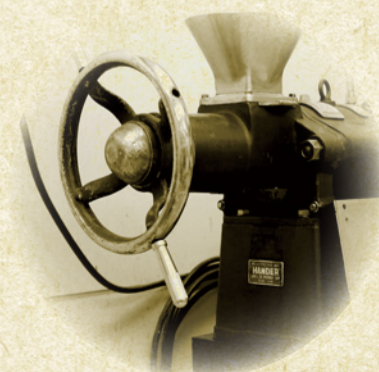


●昭和24年当時、製品開発に情熱を注ぐ故松田雄吉

赤ちゃんの肌に安心して使える、 安全な薬を

松田医薬品が独自の方法で製造した、アゼモの種子由来の「アゼオール」が配合されているヒフカA。当時、アゼモの種子に含まれる「ベンズアルデヒド」という成分が肌の再生に有効であることを突き止めた開発チームは、天然成分から取り出すことにこだわった。

種子からしか抽出できず、炒った種子の油を搾ってから水蒸気蒸留にかけて抽出する。手間のかかる作業だが、当時開発チームであった故松田雄吉社長は、「赤ちゃんの肌に使うもの。合成物質は使えない」と二歩も引かなかった。以来、「アゼオール」を作っているのも使っているのも、国内では松田医薬品のみである。



あせもや湿疹は「かゆみ止め」では治せない！

皮膚トラブルの薬は、用途に応じて選ぶことが大切である。かゆみを生じた場合、簡単に「かゆみ止め」を選択する人が多いが、あせもや湿疹は肌の状態を考慮して薬剤を選ぶことが重要。「すぐ効くから」と安易に抗ヒスタミン剤やステロイド剤を使う傾向に同社は警鐘を鳴らす。ヒフカAは、あせもや湿疹、かぶ

れやただれに効果を発揮する薬。あせもなどのトラブルは、汗腺が発達していない乳児や幼児、発汗機能が低下する高齢者にも見られる。掻きキズから雑菌が繁殖し、とびひになることも多い。あせもと診断されたら、早めにヒフカAで健やかな肌に。使い過ぎを気にせず使える安心がうれしい。

【効能・効果】汗疹(あせも)、しっしん、皮フ炎、かゆみ、ただれ、かぶれ、じんましん

●製造販売元/松田医薬品株式会社 南国工場 消費者相談窓口・TEL 088-862-1666 受付時間・9:00~17:00(土・日・祝日除く)